



DX NEXT TOHOKU

一般社団法人

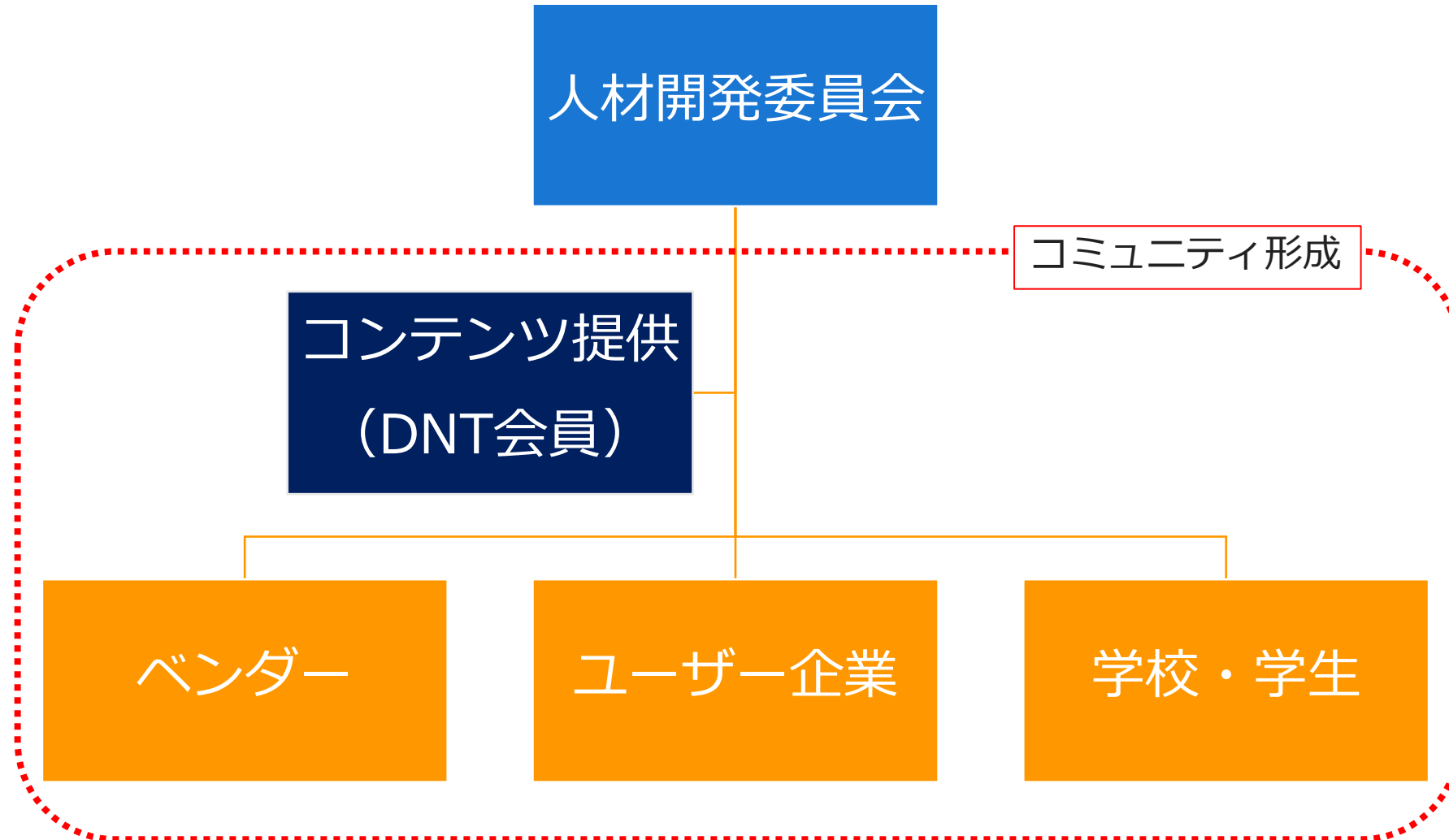
# DXに必要な人材を育てる

一般社団法人DX NEXT TOHOKU  
人材開発委員会

令和3年4月12日  
DX Conference TOHOKU 2021  
人材開発委員会

はじめに

# 人材開発委員会について



## 知識・技術

DX塾、セミナー、勉強会

## カリキュラム

E-learning、ハンズオン

## 人材開発

## 委員会

## BizDev・PBL

大学、高専、専門、企業間連携

## コミュニティ

web、SNS、X-Tech

## 知識・技術

DX塾、セミナー、勉強会

日々更新されるDXに必要な知識・技術習得  
の為、勉強会やセミナーを行う

## 人材開発

## 委員会

## BizDev・PBL

大学、高専、専門、企業間連携

## コミュニティ

web、SNS、X-Tech

はじめに

DXに必要な知識・実践的な技術を習得出来るプログラムを  
会員ベンダー、ユーザー企業、東北の学生に行う

## カリキュラム

E-learning、ハンズオン

人材開発

委員会

BizDev・PBL

大学、高専、専門、企業間連携

コミュニティ

web、SNS、X-Tech

## 知識・技術

DX塾、セミナー、勉強会

## カリキュラム

E-learning、ハンズオン

## 人材開発

## 委員会

## BizDev・PBL

大学、高専、専門、企業間連携

学生×企業×ベンダー連携の場を作り、BizDevを前提  
としたPBLを行う

※産学官連携委員会との連携

はじめに

## 知識・技術

DX塾、セミナー、勉強会

## カリキュラム

E-learning、ハンズオン

## 人材開発

## 委員会

組織と人材が共に成長する為のコミュニティを形成する

## コミュニティ

web、SNS、X-Tech

# DX NEXT TOHOKUが見る未来

- ① 地方都市「東北」の5年後
- ② 組織の構造は変わる
- ③ 新たなワークスタイル
- ④ 新しい時代に必要な人材とそのために必要なスキル
- ⑤ 東北の学生に求めるチカラ

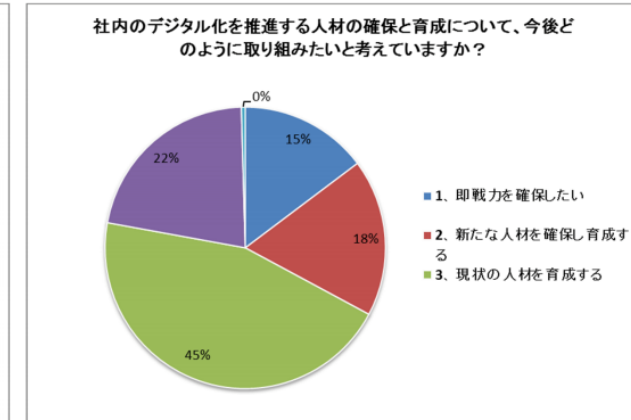
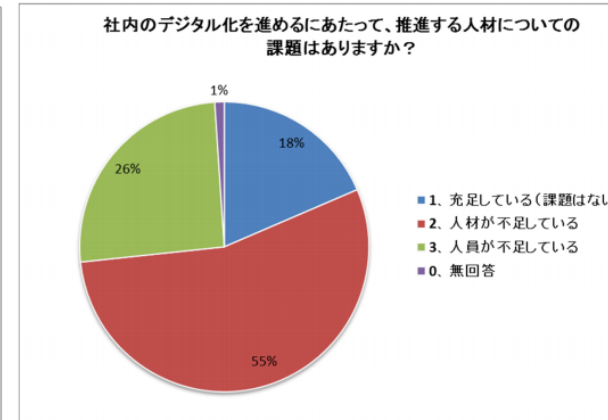
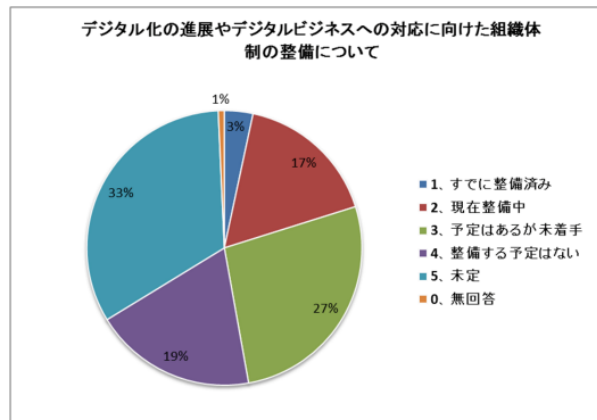
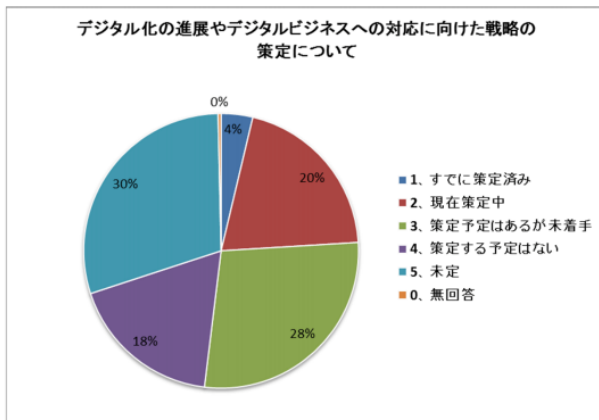


# ① 地方都市「東北」の5年後

## 東北地域の中堅・中小企業のデジタル化状況調査③

- デジタル化に係る戦略については、約5割が策定～策定予定。
- 組織体制も約5割が整備～整備予定。

- デジタル化を進めるにあたり、約7割は、「人員」や「人材」の不足を課題としている。
- また、約5割が、「現状の人材」の育成が取り組みたいとしている。



## 東北の企業は、DXやっていない

⇒デジタル戦略策定予定までが5割とあるが、未着手がほとんど。回答者の2割に留まっていて、ほぼやっていないに等しい

出典：東北地域のデジタル化・DXに向けた状況と関連施策

[https://jasa.or.jp/dl/bizmatch/webinar20210315\\_5.pdf](https://jasa.or.jp/dl/bizmatch/webinar20210315_5.pdf)

## ① 地方都市「東北」の5年後

このままだと5年後…

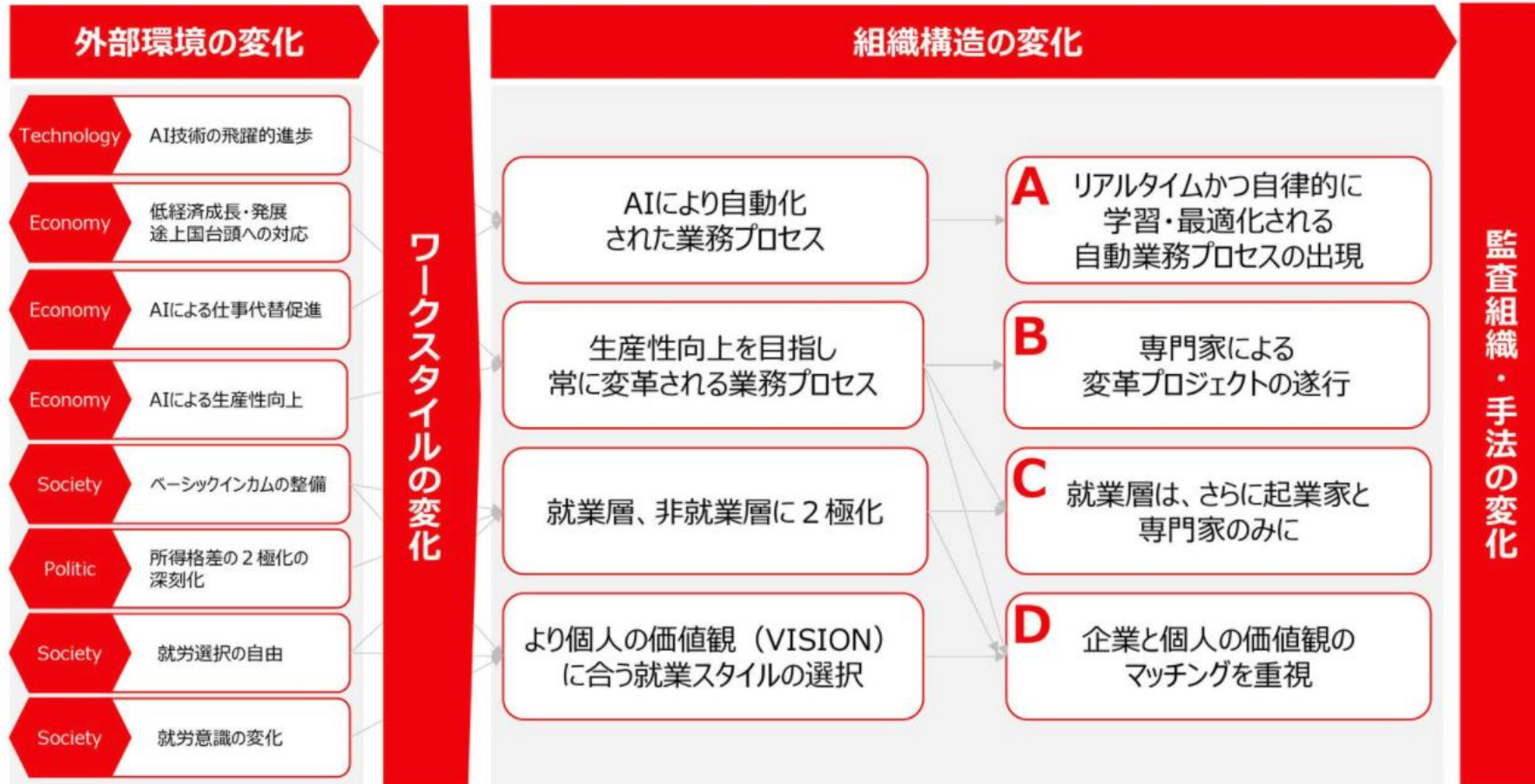
**世界から日本が遅れる  
都市部から地方都市が遅れる  
地方都市から地域が遅れる**

**DX時代から遅れて  
DX時代のビジネスモデルから外れる**

## ② 組織の構造が変わる

# ワークスタイルに影響を与える会社組織構造の変化

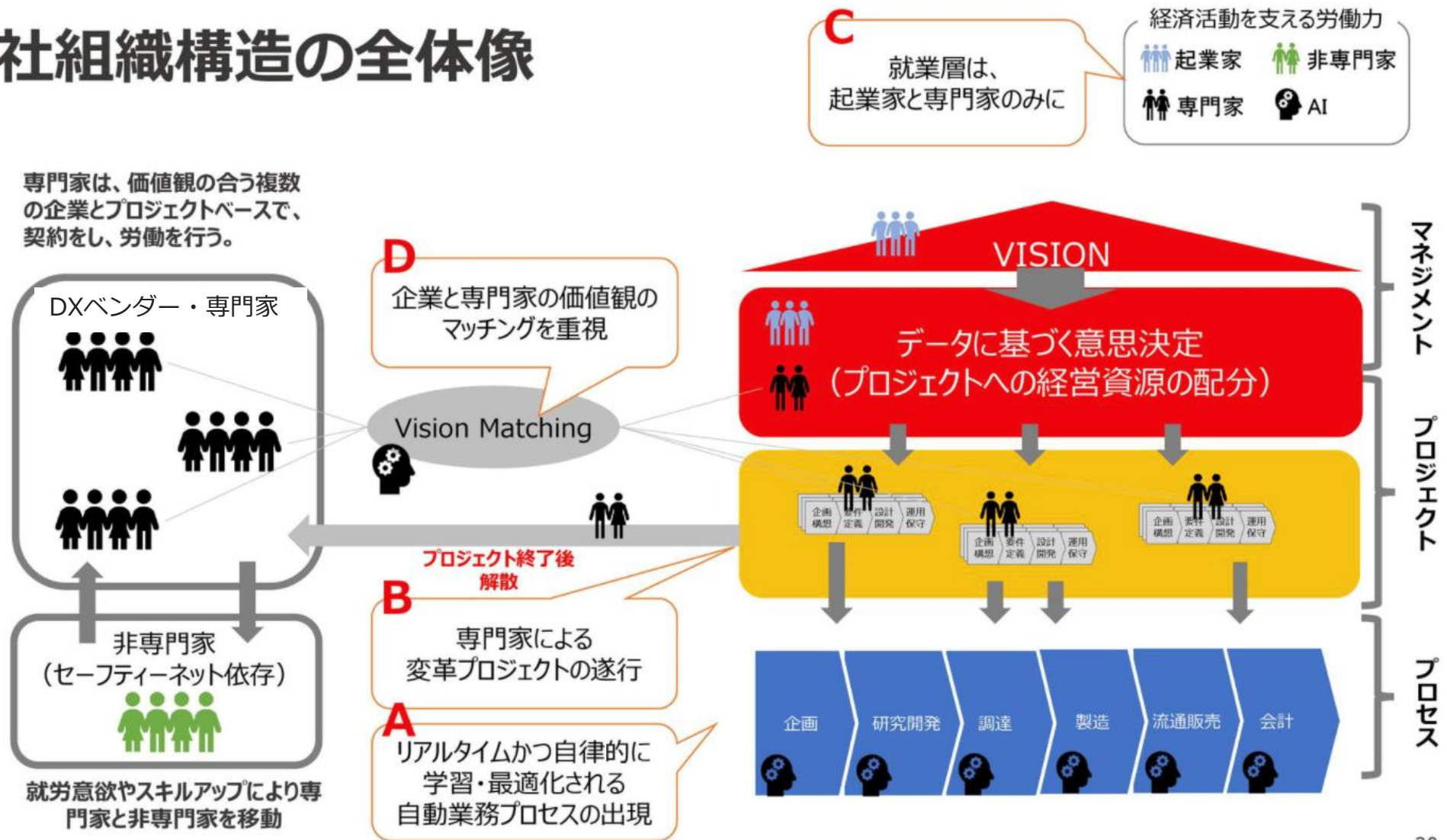
- 外部環境の変化により、組織構造が大きく変化し、従前の監査手法は転換期を迎える。



出展：シンギュラリティ時代の監査

## ② 組織の構造が変わる

# 会社組織構造の全体像

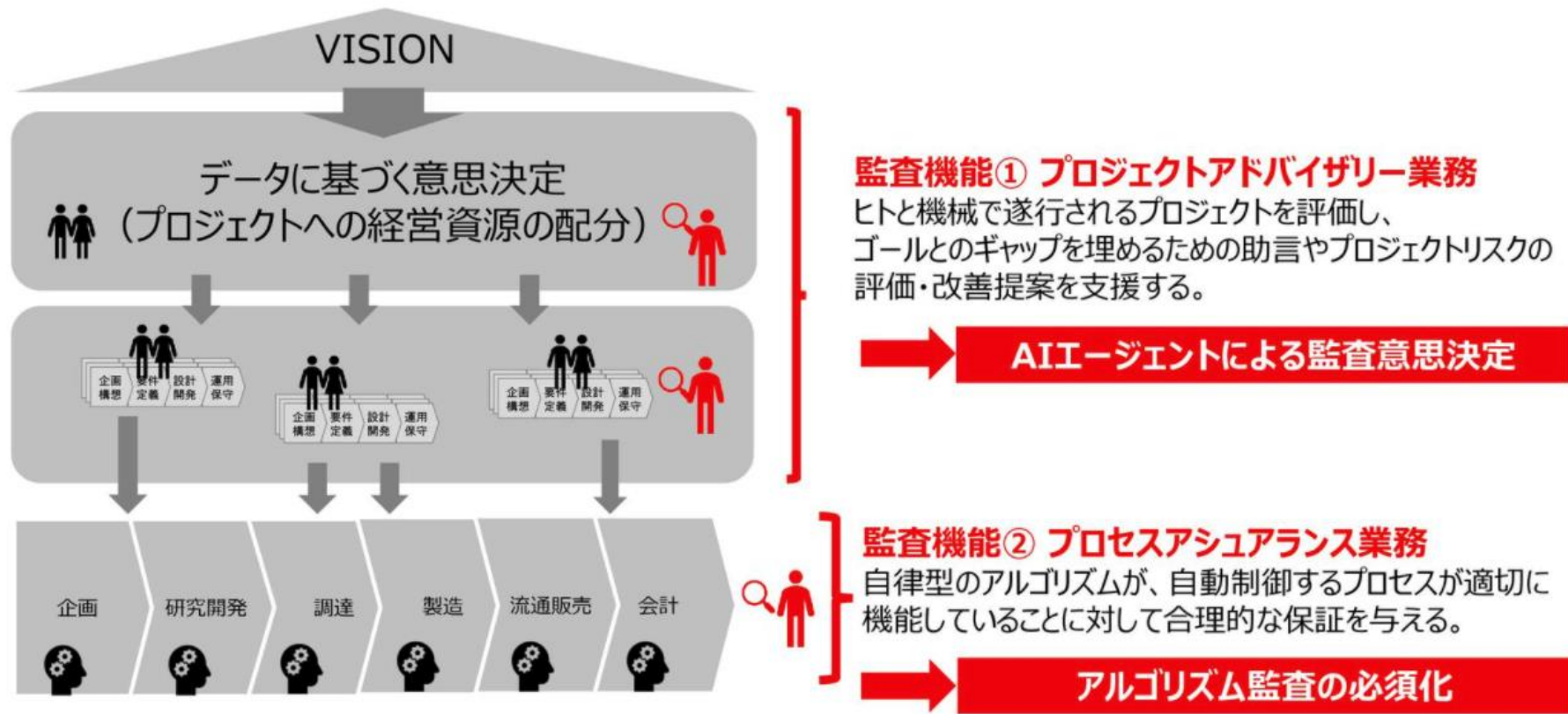




### ③ 新たなワークスタイル

## DX人材の範囲

- 監査機能①、監査機能②には、AI技術を活用した新たな手法が導入されるものと推察される。



# DX人材の保有すべきスキル

## 監査・コンサルティング力

ビジネス課題を把握し、As-IsとTo-Beとのギャップを分析できる。また、伝統的な監査と往査を実施できるスキル

**監査  
コンサルティング力**  
(監査設計・往査/ビジネスコンサル)

## プロジェクト 推進力

(プロジェクトマネジメント/  
問題解決力)

## プロジェクト推進力

関係者の合意形成を醸成しながら、As-Is⇒To-Beへの変革プロジェクトを推進できるスキル

## コンピューター サイエンス力

(ICTスキル/  
AI・IoT等先端技術等)

## コンピューターサイエンス力

AI・IoT等先端技術と伝統的なICT技術の仕組みを把握し、アルゴリズムの確からしさを検証できるスキル

統計学  
アルゴリズム

データ  
分析

AI 技術

ICT 技術



# 何から始める？

## IoT教育

なにが起こるかわからない、こんな時代だから古きを疑い、新しきを考える。

「企業内IoT人材」を育成するための“オンライン”学習支援サービス

### 『Galileo-ガリレオ-』

Galileo ガリレオは、IT導入補助金2020対象支援ツールです！

- Chapter01：このコースについて
- Chapter02：IoT.RunとIoTデバイス「Tibbo-Pi」について
- Chapter03：IoTの定義、できること
- Chapter04：IoTの構成と、「繋ぐ・集める・活用する」
- Chapter05：IoTの現状。IoTは「作る」から「使う」時代へ
- Chapter06：「使うIoT」の事例と、基礎コースのゴール

#### ■Section 2：事前準備・注意点

- Chapter07：実習で使うIoTデバイス「Tibbo-Pi」の解説
- Chapter08：Tibbo-Piを使用する際の注意事項
- Chapter09：実習環境の構築：モニター、キーボード、マウスの接続
- Chapter10：ネットワークへの設定

#### ■Section 3：IoTの概要

- Chapter11：作業用PCブラウザからのアクセス
- Chapter12：Node-REDの基礎 基本的な使い方
- Chapter13：Node-REDの基礎 よく使う6つのノード
- Chapter14：実習！環境モニタリングをする
- Chapter15：実習！通知機能を作る。ボタンとLED
- Chapter16：実習！通知機能を作る。プザー
- Chapter17：グラフ表示入門；ダッシュボードで可視化

[Home](#) > [Service](#) > AMATERAS EDU

## AMATERAS EDU

ビジネスで活かすための教育

Education to utilize in business

技術者や専門スキル向けではなく、ビジネスに活かすためのAI教育サービスです。AIプロジェクトに携わってるからこそ、本当に必要なもの、知っておきたいことを伝えられます。

#### ■Section 4：H/Wの基礎とセンサ編

- Chapter18：H/W基礎 ねじ式端子と配線の色
- Chapter19：実践！焦電センサで人を検知してみる前編
- Chapter20：実践！焦電センサで人を検知してみる後編
- Chapter21：実践！ケーブル式照度センサを使ってみよう！

#### ■Section 5：クラウド連携編

- Chapter22：クラウドの基礎 1：クラウドのメリットとおすすめのクラウドサービス
- Chapter23：クラウドの基礎2：実践！クラウドサービス「IoT Cloud TRY」と連携！
- Chapter24：クラウドの基礎3：実践！クラウドを利用した環境モニタシステム！前編
- Chapter25：クラウドの基礎3：実践！クラウドを利用した環境モニタシステム！中編
- Chapter26：クラウドの基礎3：実践！クラウドを利用した環境モニタシステム！後編
- Chapter27：おわりに。Internet of Things.

#### ■Section 6：基礎編の応用

- Chapter28：Node-REDプログラミングの解説（メッセージペイロード）
- Chapter29：Change（チェンジ）ノードの解説（値の代入・置換・削除・移動）
- Chapter30：Switch（スイッチ）ノードの解説（条件分岐）
- Chapter31：応用問題！自分でIoTシステムを開発してみよう！



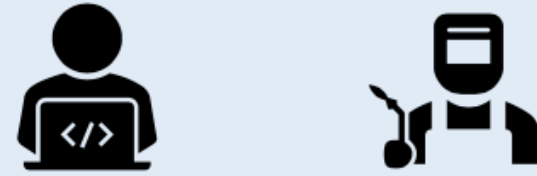
## AI教育

# 何から始める？

## 経営者向けプログラム



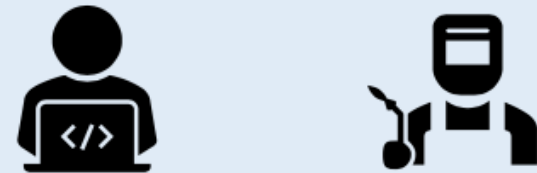
## デジタル技術基礎研修



## アイデア創出ワークショップ/発表会



営業・企画・マーケティング向けデジタル化研修  
開発・製造・生産等向けデジタル化研修





# 東北の学生に求めるチカラ

DXベンダー×学生×企業のBizDevを前提とした  
PBLの促進と、若者の底上げ

## 2021年度

### 人材開発プログラム

- 地方公共団体共催：1回
- 独自開催（IOT/AI）：各2回
- プログラムの強化

### セミナー・勉強会

- 勉強会体制構築
- 地方公共団体共催：2回
- 勉強会開催（下期）：3回

### コミュニティ形成

- サービス構築
- 参加企業（ベンダー）：3社
- 参加企業（ユーザー）：1社
- 参加校：1校

## 2022年度

### 人材開発プログラム

- 地方公共団体共催：6回（各県1）
- 独自開催：6回
- プログラム数：4コンテンツ

### セミナー・勉強会

- 地方公共団体共催：6回
- 勉強会開催：6回

### コミュニティ形成

- 参加企業（ベンダー）：5社
- 参加企業（ユーザー）：3社
- 参加校：6校

# DX NEXT TOHOKU

一般社団法人

人口が減っても幸せな未来を創る。



ご相談・お問い合わせ

一般社団法人 DX NEXT TOHOKU

TEL : 022-399-7744

本資料は、貴社内においてサービス利用の判断の参考となる情報提供を目的として作成されたものであり、弊社との間におけるいかなる取引・サービスの契約・申し込みを行うものではありません。弊社を含むいかなる者も、本資料に含まれる情報の正確性・完全性・妥当性を保証するものではなく、また、本資料に含まれる情報がかたらず一切の影響について責任を負うものではありません。本資料に含まれる情報の一切は弊社に帰属するものです。弊社の承諾なしに無断での複製・貴社外でのご利用がなされることのないようお願い申し上げます。